

(1) NO. 13 平成14年10月号 こもれび

木もれ日

こもれび・komorebi・木もれ日

総合建設・一級建築士事務所
株式会社 日向建設 ひゅうがけつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://hyuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303



ただいま新築工事中！
ビル建設
がはじまりました！
鉄骨3階建て 東京都 板橋区

今回は、東京都板橋区でビル建設が始まったと伺い、早速現場をレポートしました！



①まずは、「すみ出し」の作業です。写真は、建物全体を支える基礎を大地に結ぶ、鉄筋コンクリートの杭と呼ばれるものです。地下20mの岩盤(がんばん)にしっかりくっついています。



②杭の上に、鉄骨の柱を支えるアンカーポイントを取り付け、又、そこに地中梁(ちちゅうばり)の鉄筋を組み込んだ所です。知恵の輪のように入り組んでいますね。



③地中梁(ちちゅうばり)を作る為に、型枠を組んだ所です。生コンの圧力に負けないように、しっかりと組んでいきます。もし、型枠が壊れると、大変なことになるからです。



④生コンの打ち込み作業が始まりました。圧送車(コンクリートミキサーから生コンを受けて、太いホースで送る機械)を使って一気に流し込みます。隙間が入らないように、バイブレーターを使って隅々まで行き渡るようにします。



⑤地中梁(ちちゅうばり)の完成です！
ここまでくれば一安心！



⑥各階の床になる部分に生コンを流し、フロアとして仕上げます。

土地が狭い事や、地盤が弱かったり、工事が非常に難しい場合も多々あります。しかし、解決策は必ずあります。日向建設では、鎌倉市内を中心に多くのビル建設や、一戸建て住宅を手がけてきた経験と知識を活かし、お客様の希望に合う工事を心がけています。



(2) こもれび

～シンプルライフ・エコライフ～

快適で健康で安全な「自然素材」を使いたい
考えてみると、「エコロジカルな暮らし」とは、シンプルな暮らし方なのではないでしょうか？

新しい便利なものがたくさん造られた20世紀は、モノの時代でした。私たちは、買える範囲で、それらをこぞって買いましたが、気が付いてみると、「過剰」なほど、身の回りがモノで溢れまわっているのではないのでしょうか？

21世紀は、必要なものを最小限にとどめたシンプルな暮らし方をしたいと、今、多くの方が考えているようです。
家を持ちたいと考えている方々も、「本当に自分に必要なものを選び、本当の意味で豊かに、健康的に暮らせる家づくり」を求め人が多くなっています。

今回、ご紹介するのは、壁や床などに使用する『クロス』です。『クロス』とは本来、『布』の意味を持つそうです。実際に、壁などに建築素材として「布」を使用すると、安くても約2,500円/㎡〜と、かなり高価となります。

「ビニールクロス」という素材がありますが、本来の意味からすると、ビニールの布という言葉自体が不自然です。
しかし、約1,500円/㎡程度という安さに加え、加工がしやすく、色や柄などの豊富さにより、建築物に多く使用されるようになりました。

しかし、本当に「快適で健康で安全」な家づくりの裁量として、安全性を疑問視されているビニールクロスはお勧めできません。

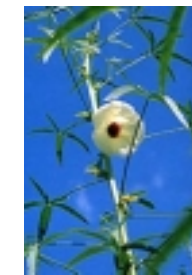


(もみじ柄)

日本古来からの素材、和紙



(桜柄)



ケナフ(ハイビスカス属の1年草)



色や質感も、素材によって豊富です。

自然素材のクロスで代表的なものには、
①エコクロス・エコウォール、②ケナフ、③和紙、④月桃紙(げっとうし) 等があります。

①は、再生紙を利用したクロスです。値段も約1,800円/㎡〜と、ビニールクロスとさほど差はありません。また、汚れ防止や防カビなどの機能性も加えられているものも多く、注目の素材です。

②ケナフは、畑で栽培でき、木材パルプに変わる新しい素材として注目を集めている植物です。

③和紙は、日本人も古来より愛用している素材。吸湿性が高く、部屋の湿度を調節する機能もあります。

また、『イグサ壁紙』には空気清浄作用、精神沈静作用、殺菌・抗菌作用などの効能、そして深い芳香があり、「奇跡の壁紙」と呼ばれているのです。

④月桃紙は、沖縄の香草で、古くから漢方薬にも利用されてきました。琉球和紙とも呼ばれ、豊かな色彩も人気の素材です。

こうした素材を使用する際には、「デンプン糊(壁紙施工用・専用澱粉糊)」などの、自然素材からできているものを選びましょう。

本当に必要なもの、本当に安全なもの、そうでないものを見極める目を養い、健康に暮らしましょう。

■地鎮祭



「地鎮祭(じちんさい)」、または「地祭(じまつり)」とは、土木・建築工事の際、その土地の守護神に、無事完成を祈願する、という儀式です。その歴史は古く西暦690年、持統天皇の時代・日本書紀にも記録があります。
式は、手水によって体の汚れをとった上で、
①修祓により心身ともに祓い清め、②神を迎え、③供え物をし、④祝辞を奏上し、⑤祓い清め、⑥地鎮式を行い、⑦玉串奉奠(たまぐしほうてん)、⑧供え物を下げ、⑨神を送り、⑩神酒を飲み交わす、という儀からなっています。

☆来月号では、「富士ソフトABC(株)」さんの新築工事での地鎮祭(地祭)をレポートします。

秋の花～なでしこ



撫子(なでしこ)は、秋の七草のひとつです。「我が子を撫(な)でるように可愛い花」という事からこの名前がついたと言われます。

『海釣り』に挑戦！真鶴から出航

●9月22日 ●天気: 雨と風

昨年、真鶴に別荘を建てて頂いた山田様とそのお父様のお誘いで、真鶴の海へ釣りに行ってきました。生憎の天気では海は大荒れ、船は大揺れ。
まるで木の葉のよう…。



ちょっと船酔いの鈴木さんの横で、最初にヒットしたのは土屋部長。おおっ！という叫びとともに釣ったのは、60cm級の「わらさ」。
そして、山田様のお父さんの釣りざおにも手ごたえが！「こ、これは大きいぞ！あーっ！！」バキバキッ！…なんと、釣り竿が半分折れてしまったのでした！
どれ程の大物だったのでしょうか？
そして、日向社長にもアタリが！……針が曲がるほどの力で引っ張られ、残念なことになってしまいました。
帰り道、割烹「大松」という料理屋さんで、誰かが捕った魚をおなか一杯食べました(笑)。ちなみに、撮影した写真は、海水と大雨のため現像ができませんでした…。

■編集後記

今月で、この「木もれ日」も創刊から1周年を迎えました！
最初は手探りで始まった木もれ日ですが、毎月発行させて頂けたのも、楽しみに待っていて下さる皆様のおかげだと思えます。これからもお役にたつ情報などをたくさん取り入れて行きたいと思っていますので、宜しくお願い致します。
長かった暑い夏も終わり、秋たけなわの今日この頃です。来月号は、冬に向かい快適に過ごす事の出来る、床暖房について考えたいと思います。皆様のご意見・ご感想もどしどしお寄せ下さい。